

FAQ

1) インタビュイーが「匿名」や「仮名」となっていました。著者位置にはインタビュアーを記述するべきですか？

インタビューの主要貢献者は基本的にインタビュイーとなります。
この場合はインタビュイーの名前を「Anonymous」として、他は通常通り記述してください。Reference List での並び順は、Anonymous を人名として扱って、通常通りアルファベット順で並べてください。

2) 大量の一般誌から様々な記事を引用します。同じ雑誌はひとつにまとめて記述してもかまいませんか？

一つの作品としてまとめて Reference の記述ができる条件は

- ・ 作品タイトル（この場合だと記事タイトル）が同一、かつ、収載箇所が連続している（複数巻にまたがっている場合でも、間に他の作品が入らない）
- ・ タイトルが同一、かつ、収載箇所が不連続だが、全てのページが一つの収載巻におさめられている。

のいずれかのみの場合となります。

同じ雑誌といえども、引用した記事のタイトルが一致していない場合や、タイトルが一致していても巻が改まっている場合は、お手数ですが全て別々に記述してください。

3) 流通が限られた作品の記述はどうすればいいですか？

ここでは仮に、自費出版で、なおかつ「出版元＝著者位置の貢献者」という場合を例に考えます（同人誌などがこれに当てはまります）。

基本的な記述は、

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 [Privately published book].
東京: Author.

となりますが、流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報で入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。

入手・閲覧先の記述には様々な種類がありますので、詳細は関連項目を参照してください。

ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで閲覧が合法的に可能である場合の例を記述します。

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 [Privately published book].
東京: Author. (Retrieved from CGS Online website:
<http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com>)

4) テレビ番組の記述の仕方について教えてください。例えば毎週のテレビ放送は定期刊行物扱いになりますか？

テレビやラジオの放送は非定期刊行物扱いになります。

※以下の例はラジオの場合でも使用できます。その場合は Description を [Radio series] や [Radio broadcast] などとってください。

(1) 終わりが決まっていない長期的なテレビ放送の中の、1回の放送

阿井上緒. (Executive Producer). (1999, June 6). 『CGS ネットワーク』 [Television broadcast]. 東京: CGS 東京放送局.
終わりが決まっていない長期的なテレビ放送の中の一回の放送から引用した場合は以上のように記述します。出版元情報は「Location: 制作局」を記述してください。
出版年月日は、
・毎季節の放送・毎月の放送の場合は月まで
・毎週がそれ以上の頻度で放送される場合は日にちまで
記述しますので、上記の例は毎週以上の頻度の場合の記述となります。

(2) 終わりが決まっていない長期的なテレビ放送の中の、一定の期間に亘る放送

阿井上緒. (Executive Producer). (1999, June 6-2009, July 15). 『CGS ネットワーク』 [Television broadcast]. 東京: CGS 東京放送局.
終わりが決まっていない長期的なテレビ放送の中の一定の期間にわたる放送から引用した場合は、以上のように記述します。引用した放送期間を特定する必要があります。
出版年月日は、
・毎季節の放送・毎月の放送の場合は月まで
・毎週がそれ以上の頻度で放送される場合は日にちまで
記述しますので、上記の例は毎週以上の頻度の場合の記述となります。

(3) 終わりが決まっているテレビシリーズの一回分の放送

阿井上緒. (Writer). (1999, September 19). 『CGS の日常』 [Television series]. 東京: CGS 東京放送局.
終わりの定まっているシリーズの場合は終わりの定まっていないテレビ放送と違って Description が [Television series] になります。
基本の書式は以上ようになりますが、各回に副題がついている場合は、以下のようにそれを記述し、シリーズ全体を収載巻情報 (In~) として挿入してください。
阿井上緒. (Writer). (1999, September 19). 「朝の雑用」 [Television series episode]. In 『CGS の日常』 [Television series]. 東京: CGS 東京放送局.

(4) 終わりの決まっているシリーズ全体

阿井上緒. (Writer). (1999, September 19-2000, April 19). 『CGS の日常』 [Television series]. 東京: CGS 東京放送局.
シリーズ全体を記述する場合はシリーズ開始とシリーズ終了の出版時をハイフンでつないで記述します。
上記は日にちまで記述してあるので、毎週以上の頻度の放送の場合の記述です。

5) テレビ放送の DVD・VHS 化商品について、どのように記述すればいいですか？

※以下の例はラジオの場合でも使用できます。その場合は Description を [DVD of radio series] や [DVD of radio broadcast] などとしてください。

(1) テレビシリーズの DVD・VHS 化商品について

阿井上緒. (Writer). (2000). 『CGS の日常』 [DVD of television series]. 東

京:CGS ソフトウェア.(1999-2000)

放送そのものではなく記憶媒体に記録したものの場合は、出版元情報が通常通りになります（放送自体を記述する場合の出版元情報は「Location: 制作局」になります）。

テレビシリーズが録音・撮影された年と DVD・VHS の発行年が違う場合は、末尾追加情報で録音・撮影年を記述してください。

基本の書式は以上のようになりますが、各回に副題がついている場合は、以下のようにそれを記述し、シリーズ全体を収録巻情報（In～）として挿入してください。[DVD of television series episode]

阿井上緒.(Writer).(2000, September 19).「昼下がりのまどろみ」 [DVD of television series episode]. In 『CGS の日常』 [DVD of television series]. 東京:CGS ソフトウェア.(1999)

(2) テレビシリーズの DVD・VHS 化商品（流通が限られているもの）について

阿井上緒.(Writer).(2000, September 19).「昼下がりのまどろみ」 In 『CGS の日常』 [DVD of television series]. 東京:CGS ソフトウェア.(1999, Retrieved from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com>)

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。

その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。

ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで閲覧が合法的に可能である場合の例を記述します。

(3) 一回きりのテレビ放送の DVD・VHS 化商品について

阿井上緒.(Writer).(2006).『CGS の秘密』 [DVD of television broadcast]. 東京:CGS ソフトウェアパブリッシング.(2005)

テレビシリーズが撮影・公開された年と DVD・VHS の発行年が違う場合は、末尾追加情報で撮影・公開年を記述してください。

(4) 一回きりのテレビ放送の DVD・VHS 化商品（流通が限られているもの）について

阿井上緒.(Writer).(2006).『CGS の秘密』 [DVD of television broadcast]. 東京:CGS ソフトウェアパブリッシング.(2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com>)

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。

その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。

ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで閲覧が合法的に可能である場合の例を記述します。

(5) テレビシリーズのダイジェスト版の DVD・VHS 化商品について

阿井上緒. (Writer). (2006). 『CGS の秘密』 [DVD summarizing television series]. 東京: CGS ソフトウェアパブリッシング. (2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで見ることが法的に可能である場合の例を記述します。

6) テレビ放送や映画を元にしていない DVD・VHS 商品

阿井上緒. (Producer)., 垣くけ子. (Director)., & 伽菊気子. (Writer). (2006). 『CGS の四季』 [VHS video cassette]. 東京: CGS ソフトウェアパブリッシング. (2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

DVD の場合は Description が [DVD] になります。テレビ放送や映画を元にしていない DVD・VHS 商品については、映画と同じくプロデューサーか監督、またはその両方を記す。脚本家がプロデューサー・監督とは別にいて、且つ映画に大きく貢献しているような作品の場合は脚本家も記す。流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで見ることが法的に可能である場合の例を記述します。

6) 映画作品の記述の仕方について教えてください。

阿井上緒. (Producer)., 垣くけ子. (Director)., & 伽菊気子. (Writer). (2006). 『CGS の四季』 [Motion picture]. 日本: CGS プロモーションムービー制作・上映委員会. (2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

映画の場合は Description で [Motion Picture] と記述します。

出版情報は

メインの制作国名: 映画スタジオや配給会社。

Country/countries of origin: Studio or distributor.

の形で記します。

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。ここでは CGS Online という無料のウェブサイトで見ることが法的に可能である場合の例を記述します。

7) 映画のDVD/VHS化作品について、どう記述すればいいですか？

阿井上緒.(Producer)., 垣くけ子.(Director)., & 伽菊気子.(Writer).(2006). 『CGSの四季』 [DVD of motion picture]. 日本: CGS プロモーションムービー制作・上映委員会.(2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com>)

VHSの場合はDescriptionが[VHS of motion Picture]と記します。

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。

その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。

ここではCGS Onlineという無料のウェブサイトで閲覧が合法的に可能である場合の例を記述します。

8) 録音作品について、記述の方法を教えてください。

阿井上緒.(Lyricist). & 垣くけ子.(Composer).(2006). 「春」. 『CGSの四季』 (伽菊気子 & 刺洲せそ, Performers) [CD]. 東京: CGS ミュージック.(2005, Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com>)

メディアがCDの場合の例は上記のようになります。

上記の例では作詞家・作曲家と演奏者が別となっています。

本文での記述は

(阿井, 2006, track 7)

のように、曲名ではなくトラック番号で指定します。

流通が限られていて入手が容易でない場合は、末尾追加情報、録音・撮影年に続いて入手・閲覧先に関する情報を記述したほうがよいでしょう。

その場合の記述は入手・閲覧先によって様々な可能性がありますので、詳細は関連項目を参照してください。

ここではCGS Onlineという無料のウェブサイトで閲覧が合法的に可能である場合の例を記述します。

9) アーカイブで視聴した講演会の録音記録を記述したいのですが、可能でしょうか。

阿井上緒.(Speaker).(2008). 「CGSと私」 In 垣くけ子 (Chair), CGS 定例報告会. Speech presented at the meeting of ICU Center for Gender Studies, Tokyo. (CGS 文庫デジタルアーカイブ, call number 112, box number 342, folder number 049, file number 002, 三鷹, 東京)

講演会は、「会議・シンポジウム・発表・講演など、形に残らないもの」の通常の記述をします。その後、末尾追加情報で視聴したアーカイブと、データの保存ナンバーを記述します。

この場合、作品の本体は Cassette Recording ではなく講演自体の方なので（というのも、Cassette Recording はアーカイブ收藏品であって、作品として世に流通しているわけではないので）、Description として[Cassette Recording]などを記述しないほうが分かりやすいでしょう。

10) インタビューと対談・座談会の違いが分かりません。インタビュアーの貢献度が大きい場合は対談・座談会扱いにしたほうがよいのでしょうか。

インタビューの場合、著者位置に来るべきなのはまず第一にインタビュイーです。ただしインタビュアーの貢献度が非常に高い場合はインタビュアーも著者位置で記述してかまいません。

この場合、確かに対談との区別はつきにくいと思います。その場合は作品の表記に従ってください。対談のように思えても、インタビューと表記してあればインタビュー扱いしましょう。

対談と座談会も、作品の表記に従って記述し分けてください。

(1) インタビュー（インタビュイーのみ著者位置に）

阿井上緒, (Interviewee), (2008), 「CGS と私」, (垣くけ子, Interviewer) [Interview]. In 垣くけ子 (Ed.), 『CGS の 100 年史』 (pp. 18-43). 東京: CGS 出版.

(2) 対談

阿井上緒., & 垣くけ子. (Dialogue participants), & 阿笠田奈. (Facilitator). (2008). 「CGS と私」 [Dialogue]. In 阿賀沙多菜, (Ed.), 『CGS の 100 年史』 (pp. 18-43). 東京: CGS 出版.

司会進行役（Facilitator）がいる場合は Facilitator も記述しましょう。Facilitator が主要な貢献者としてクレジットされていない場合は、以下のように引用作品補足情報で記述してください。

阿井上緒., & 垣くけ子. (Dialogue participants). (2008). 「CGS と私」 (阿笠田奈, Facilitator). [Dialogue]. In 阿賀沙多菜, (Ed.), 『CGS の 100 年史』 (pp. 18-43). 東京: CGS 出版.

(3) 座談会

阿井上緒., 垣くけ子., & 伽菊気子. (Discussion participants), & 阿笠田奈. (Facilitator). (2008). 「CGS と私」 [Discussion]. In 阿賀沙多菜, (Ed.), 『CGS の 100 年史』 (pp. 18-43). 東京: CGS 出版.

司会進行役（Facilitator）がいる場合は Facilitator も記述しましょう。Facilitator が主要な貢献者としてクレジットされていない場合は、以下のように引用作品補足情報で記述してください。

阿井上緒., & 垣くけ子. (Discussion participants). (2008). 「CGS と私」 (阿笠田奈, Facilitator). [Discussion]. In 阿賀沙多菜, (Ed.), 『CGS の 100 年史』 (pp. 18-43). 東京: CGS 出版.

11) 判例の記述方法について教えてください。

平成 18 年(行ウ)第 309 号住民票不記載処分取消等請求事件, ■1981 ■判時 ■9 ■(東京地方裁判所 ■2007)

平成 19 年(行コ)第 229 号住民票不記載処分取消等請求控訴事件(事実婚夫婦の子の出生届不受理), ■1981 ■判時 ■9 ■(東京高等裁判所 ■2007)

平成 20 年(行ヒ)第 35 号住民票不記載処分取消等請求事件, ■1482 ■裁時 ■3 ■(最高裁判所 ■2009)

上記は、実際に CGS 紀要に掲載された論文の記述例です。

APA 論文作成マニュアルに従えば、判例の書き方は米国の Bluebook に従うべきだということになります。

具体的には、

訴訟の名前, ■巻数 ■判例集 ■ページ数, ■(判決を下した裁判所の名前 ■判決年)の順番で並べていくことになります。

末尾にはピリオドを打ちません。

英語の例で見ると、

Lessard ■v. ■Schmidt, ■349 ■F. ■Supp. ■1078 ■(E. ■D. ■Wis. ■1972)

となります。

訴訟の名前が「Lessard v. Schmidt」で、「Federal Supplement」という判例集「349」巻の「1078」ページに掲載されている、ウィスコンシン州東部地区法廷(E. ■D. ■Wis.) で 1972 年に判決が言い渡された訴訟の例ということの意味しています。

日本語の実例も同じ構成で記述されています。

法廷の名前や判例集の名前に略語が使われていますが、それぞれ慣習に従って記述してください。

12) 書籍のあとがき解説から引用したいのですが、References での記述はどのようになりますか？

阿井上緒. ■(2003). ■「提言: CGS の未来」 ■[Commentary ■on ■the ■book ■『CGS と私』 ■by ■垣くけ子]. ■In ■垣くけ子, ■『CGS と私』 . ■東京: ■CGS 出版.

上記は、日本の書籍(文庫)にありがちな、作品解説が当の作品自身に掲載されているケースの記述です。解説やコメントは[Commentary ■on ■the ■book ■Work ■title ■by ■G. ■M. ■Surname]という書式の Description が必要です。

book の部分は、解説の対象の実態に合わせて書き変えてください。

13) 書評の場合は何か特別な記述方法になるのでしょうか。

阿井上緒. ■(2003). ■「提言: CGS の未来」 ■[Review ■of ■the ■book ■『CGS と私』 ■by ■垣くけ子]. ■In ■阿井上緒, ■『ジェンダー・セクシュアリティ教育の未来』 . ■東京: ■CGS 出版.

書評には[Review of the book *Work title* by G. M. Surname]という書式のDescriptionが必要です。
bookの部分は、書評の対象の実態に合わせて書き変えてください。

14) 翻訳書の記述について教えてください。

以下に例示します。

(1) 非日本語文献の日本語訳

[1] 翻訳元＝一巻の作品全体

{1} 翻訳がそれだけで一巻の作品になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, 社会性别研究中心, by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, Center for Gender Studies, by Ueo M. Ai, Author, New York: ICU Press)

{2} 翻訳がほかの一巻の作品の一部になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, 社会性别研究中心, by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, Center for Gender Studies, by Ueo M. Ai, Author, New York: ICU Press)

{3} 翻訳が定期刊行物の1記事になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICUの研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, 社会性别研究中心, by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICUの研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, Center for Gender Studies, by Ueo M. Ai, Author, New York: ICU Press)

[2] 翻訳元＝一巻の作品の一部

{1} 翻訳がそれだけで一巻の作品になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, in 国际基督教大学の研究中心, pp. 8-100, by Jiaoda Du [督教大], Ed., Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, in Research institutes of ICU, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki, Ed., New York: ICU Press)

{2} 翻訳がほかの一卷の作品の一部になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “社会性別研究中心,” by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, in 国際基督教大学の研究中心, pp. 8-100, by Jiaoda Du [督教大], Ed., Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, in Research institutes of ICU, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki, Ed., New York: ICU Press)

{3} 翻訳が定期刊行物の1記事になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICUの研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “社会性別研究中心,” by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, in 国際基督教大学の研究中心, pp. 8-100, by Jiaoda Du [督教大], Ed., Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICUの研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, in Research institutes of ICU, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki, Ed., New York: ICU Press)

[3] 翻訳元＝定期刊行物の1記事

{1} 翻訳がそれだけで一卷の作品になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “社会性別研究中心,” by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, 国際基督教大学の研究中心, 7(12), 34-104)

Ai, Ueo M. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Trans.). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, Research institutes of ICU, 7(12), 34-104)

{2} 翻訳がほかの一卷の作品の一部になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “社会性別研究中心,” by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, 国際基督教大学の研究中心, 7(12), 34-104)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」 In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, Research institutes of ICU, 7(12), 34-104)

{3} 翻訳が定期刊行物の1記事になっている場合

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICUの研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “社会性別研究中心

心,” by Jiji Guo [国际基, 国际基], Author, 国际基督教大学的研究中心, 7(12), 34-104)

Ai, Ueo M. (2003). 「ジェンダー研究センター」. 『ICU の研究所』, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “Center for Gender Studies,” by Ueo M. Ai, Author, Research institutes of ICU, 7(12), 34-104)

(2) 非英語文献（日本語文献含む）の英語訳

[1] 翻訳元＝一巻の作品全体

{1} 翻訳がそれだけで一巻の作品になっている場合

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 社会性
別研究中心, by Jiji Guo [国际基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 『ICU の研究所』, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, Tokyo: ICU Press)

{2} 翻訳がほかの一巻の作品の一部になっている場合

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *Center for Gender Studies In Nihohe C. Iroha* (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 社会性
別研究中心, by Jiji Guo [国际基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). *Center for Gender Studies In Nihohe C. Iroha* (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 『ICU の研究所』, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, Tokyo: ICU Press)

{3} 翻訳が定期刊行物の 1 記事になっている場合

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *Center for Gender Studies. Research institutes of ICU*, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, 社会性
別研究中心, by Jiji Guo [国际基], Author, Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). *Center for Gender Studies. Research institutes of ICU*, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, 『ICU の研究所』, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, Tokyo: ICU Press)

[2] 翻訳元＝一巻の作品の一部のみ

{1} 翻訳がそれだけで一巻の作品になっている場合

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, “社会性
別研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, in 国际基督教大学的研究中心, pp. 8-100, by Jiaoda Du [道教大], Ed., Beijing: ICU Press)

Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, in 『ICU の研究所』, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki [垣くけ子], Ed., Tokyo: ICU Press)

{2} 翻訳がほかの一巻の作品の一部になっている場合

- Guo, Jiji. [国际基]. (2003). Center for Gender Studies In Nihoho C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, in *国际基督教大学的研究中心*, pp. 8-100, by Jiaoda Du [宣教大], Ed., Beijing: ICU Press)
- Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). Center for Gender Studies In Nihoho C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, in 『ICU の研究所』, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki [垣くけ子], Ed., Tokyo: ICU Press)

{3} 翻訳が定期刊行物の 1 記事になっている場合

- Guo, Jiji. [国际基]. (2003). Center for Gender Studies. *Research institutes of ICU*, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, in *国际基督教大学的研究中心*, pp. 8-100, by Jiaoda Du [宣教大], Ed., Beijing: ICU Press)
- Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). Center for Gender Studies. *Research institutes of ICU*, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, in 『ICU の研究所』, pp. 8-100, by Kukeko S. Kaki [垣くけ子], Ed., Tokyo: ICU Press)

[3] 翻訳元 = 定期刊行物の 1 記事

{1} 翻訳がそれだけで一巻の作品になっている場合

- Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aqa, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, *国际基督教大学的研究中心*, 7(12), 34-104)
- Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). *Center for Gender Studies* (Satana E. Aqa, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, 『ICU の研究所』, 7(12), 34-104)

{2} 翻訳がほかの一巻の作品の一部になっている場合

- Guo, Jiji. [国际基]. (2003). Center for Gender Studies In Nihoho C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, *国际基督教大学的研究中心*, 7(12), 34-104)
- Ai, Ueo M. [阿井上緒]. (2003). Center for Gender Studies In Nihoho C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). New York: ICU Press. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, 『ICU の研究所』, 7(12), 34-104)

{3} 翻訳が定期刊行物の 1 記事になっている場合

- Guo, Jiji. [国际基]. (2003). Center for Gender Studies. *Research institutes of ICU*, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, “社会性别研究中心,” by Jiji Guo [国际基], Author, *国际基督教大学的研究中心*, 7(12), 34-104)

Ai, Ueo M. [阿井上緒] (2003). Center for Gender Studies. Research institutes of ICU, 6(12), 18-97. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, by Ueo M. Ai [阿井上緒], Author, 『ICU の研究所』, 7(12), 34-104)

15) 古典作品の記述の仕方について教えてください。

以下に例示します。

(1) 西洋の主要な古典作品

聖書などの宗教書を含む主要な古典古代の作品の原典（写本）、信用できる現代英語への翻訳、および信用できる英語による注釈本に関しては、本文中で言及または引用した場合でも、論文末の References にはリストしなくてもかまいません。

但し、これらには無数のヴァージョンがあるため、論文末の References にリストしない場合は、(a)本文中において誰の何という著作なのか、また(b)本文中出典明記の半角丸括弧内でどの版（のどの部分）から引用したのか、の2点を明示するひつようがあります。

例 1: *Rhetoric* の 1931 年版英語訳から引用した場合

Rhetoric において、~~~~ ~~~~ paraphrase ~~~~ ~~~~と述べられているように(Aristotle, trans. 1931)、...

アリストテレスの著作 *Rhetoric* (『弁論術』) の 1931 年版英語訳から引用した場合の引用文献情報。書名を本文中で明記し、半角丸括弧でヴァージョン情報を記す。記述の中の trans. は translation (翻訳) の略であることから生じる違い。

例 2: *On the republic* の 2005 年版英語訳から引用した場合

On the republic においてキケロは、~~~~ ~~~~ paraphrase ~~~~ ~~~~と述べている(Cicero, trans. 2005)。

キケロの著作 *On the republic* (『国家論』) の 2005 年版英語訳から引用した場合の引用文献情報。書名を本文中で明記し、半角丸括弧でヴァージョン情報を記す。本文中で「キケロ」と著者名を述べているので、半角丸括弧では(trans. 2005)だけでもいいが、英語の綴りを記しておきたい場合などは名前を記述してもよい。

例 3: 聖書の New International Version から引用した場合

例えば“ First Epistle of Paul to the Corinthians”では、~~~~ ~~~~ paraphrase ~~~~ ~~~~とされている(New International Version)。

聖書の New International Version (もちろん英語版) の“ First Epistle of Paul to the Corinthians” (『コリントの信徒への手紙一』) から引用した場合。

(2) References で記述する場合

古典古代より後に成立した古典的作品の場合、通常通り References にリストする必要があります。

[1] 原本を入手・閲覧して引用した場合。

阿井上緒. [ca. 1000]. 『三鷹物語』. CGS 文庫, 国際基督教大学図書館, 国際基督教大学, 東京.

Ai, Ueo M. [ca. 1000]. *Tales of Mitaka*. CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo.

Guo, Jiji. [国际基]. [ca. 1000]. 三鷹志 [Sanying-zhi, History of three hawks]. CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo.

古典作品の原本で主に問題になるのは、作者・出版年数・タイトル・出版元に関する情報が定かでない場合です。

作品自体に記述があつて原作者が明らかである場合は通常通り記述してください。

作品自体に記述がないものの、この人物・団体の手によるものということがほとんど確実だという原作者がいる場合は、[阿井上緒.]や[Ai, Ueo M.]のように、半角角括弧で囲って記述してください。

作品自体に記述がないが原作者として知られている人物・団体がある場合で、その通説に疑問が多い場合は、[阿井上緒.?]や[Ai, Ueo M.?]のように、半角疑問符を記述してください。

出版年月日は、西暦 1000 年と断定できる記述が作品にある場合には通常通り (1000) という記述でかまいません。

作品自体に記述がないものの大体 1000 年あたり、という場合は[ca. 1000]と記述してください。「大体 1000 年あたり」という通説に疑問がある場合は、[ca. 1000?]と記述してください。

出版年月日について全く分かっていない場合は、no date を意味する (n.d.) と記述しましょう。

タイトルは、その後の翻訳や現代語訳、研究などで使われる一貫した名称があればそれを正式名称として使って構いません。

つまり、竹取物語は正式なタイトルではありませんが、[竹取物語]ではなく『竹取物語』と記述してよいということです。

出版元情報は、なければ記述しなくてかまいません。代わりに出版元情報の代替情報として入手・閲覧先に関する情報を記述してください。

上記の例は図書館に赴いて閲覧した場合の例です。他にも様々な記述方法がありますので、出版元情報の代替情報の項目を参考に、入手・閲覧の実態に合わせた記述をして下さい。

古典作品で、出版元情報がある場合の注意点は、写本の項を参照してください。

本文中出典明記では、例えば源氏物語であれば（源氏物語の原本は現存していませんが）、

(紫式部, 「篝火」)

(紫式部、「玉鬘」)

のように、巻タイトルで箇所を指定してもかまいません。

[2] 写本などを入手・閲覧して引用した場合。

阿井上緒.[ca.1005].『三鷹物語』(垣くけ子,Transcriber,大沢version)[Transcription].東京:三田加屋国際兵衛.(Transcribed from『三鷹物語』,京都version,Vols.1-2,Transcription,by阿井上緒,Author,伽菊気子,Transcriber,ca.1000)

Ai,Ueo M.[ca.1005].*Tales of Mitaka*(Kukeko S.Kaki,Transcriber,Edinburgh version)[Transcription].Edinburgh:Keko V.Kyakiku.(Transcribed from *Tales of Mitaka*, London version, Vols.1-2, Transcription, by Ueo M. Ai, Author, Keko V. Kyakiku, Transcriber, ca.1000)

Guo, Jiji.[国际基].[ca.1005].*三鷹志*[Sanying-zhi, History of three hawks](Jiaoda Du[督教大], Transcriber, Beijing[北京] version)[Transcription].Beijing:Jingde Shudian[景德书店].(Transcribed from *三鷹志*[Sanying-zhi, History of three hawks], Jingde[景德] version, Vols.1-89, Transcription, by Jiji Guo[国际基], Author, Xue Jiaoyang[学教养], Transcriber, ca.1000)

手書きの写本の場合は[Transcription]という Description を記述します。また、判明している場合は、末尾追加情報で写本の元となった正本情報を記述します。正本の出版元が不明の場合は記述しなくてかまいません。

正本情報が必要となる Description はほかにもあります。

覆刻本の場合は[Woodblock-copy]、

影印本の場合は[Photocopy]、

木版翻刻の場合は[Wooden letterpress-copy]

翻刻本の場合は[Letterpress-copy]

といった Description を記述し、それぞれ正本情報が必要です。

上記のような場合は、写本家の Contribution はそれぞれ

覆刻本の場合は Woodblock-transcriber

影印本の場合は Photocopy-transcriber

木版翻刻の場合は Wooden letterpress-transcriber

翻刻本の場合は Letterpress-transcriber

となります。

また正本情報もそれぞれ、

覆刻本の場合は Woodblock-copied

影印本の場合は Photocopied

木版翻刻の場合は Wooden letterpress-copied

翻刻本の場合は Letterpress-copied

で始まります。

正本情報が明らかでない場合は、(Transcribed from unknown transcription)と記述してください。

覆刻本の場合は(Woodblock-copied from unknown transcription)
影印本の場合は(Photocopied from unknown transcription)
木版翻刻の場合は(Wooden letterpress-copied from unknown transcription)
翻刻本の場合は(Letterpress-copied from unknown transcription)
となります。

写本の場合でも、主に問題になるのは、作者・出版年数・タイトル・出版元に関する情報が定かでない場合です。

作品自体に記述があつて原作者が明らかである場合は通常通り記述してください。

作品自体に記述がないものの、この人物・団体の手によるものということがほとんど確実だという原作者がいる場合は、[阿井上緒.]や[Ai, Ueo M.]のように、半角角括弧で囲って記述してください。

作品自体に記述がないが原作者として知られている人物・団体がある場合で、その通説に疑問が多い場合は、[阿井上緒.?]や[Ai, Ueo M.?]のように、半角疑問符を記述してください。

出版年月日は、西暦 1000 年と断定できる記述が作品にある場合には通常通り(1000)という記述でかまいません。

作品自体に記述がないものの大体 1000 年あたり、という場合は[ca. 1000]と記述してください。「大体 1000 年あたり」という通説に疑問がある場合は、[ca. 1000?]と記述してください。

出版年月日について全く分かっていることがない場合は、no date を意味する(n.d.)と記述しましょう。

タイトルは、その後の翻訳や現代語訳、研究などで使われる一貫した名称があればそれを正式名称として使って構いません。

つまり、竹取物語は正式なタイトルではありませんが、[竹取物語]ではなく『竹取物語』と記述してよいということです。

出版元情報は、なければ記述しなくてかまいません。代わりに出版元情報の代替情報として入手・閲覧先に関する情報を記述してください。

出版元情報がある場合は通常通り記述してください。古典作品には、個人のパトロンが出版元になっている場合がよくありますが、その場合もそのパトロンの名前を出版元として記述してください。

入手・閲覧の難しい写本に関しては、末尾追加情報で入手・閲覧先の情報を記述してください。上記の例は図書館に赴いて閲覧した場合の例です。他にも様々な記述方法がありますので、末尾追加情報の項目を参考に、入手・閲覧の実態に合わせた記述をして下さい。

本文中出典明記では、

(阿井上緒, 大沢 version, chap. 9)

(阿井上緒, 大沢 version, chap. 9)

のように、バージョン情報で写本を特定します。

※正本情報の詳細に関しては、関連項目を参照してください。

16) 古典作品の翻訳書から引用した場合は、どのように記述すればいいですか？

古典作品の翻訳というと、言語的な翻訳と現代語訳の2つの可能性があります。

(1) 言語的な翻訳

[1] 原本の情報が明らかでない翻訳書の場合

原本の情報が明らかでない翻訳書の使用はあまり勧められませんが、やむを得ずそのような翻訳書から引用した場合は、以下のように記述してください。

●中→日翻訳

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 『三鷹志』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-33). 東京: CGS 出版. (Original work unknown)

●中→英翻訳

Guo, Jiji. [国際基]. (2003). *Records of three hawks* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work unknown)

●英→日翻訳

Ai, Ueo M. (2003). 『三鷹の商人』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-3). 東京: CGS 出版. (Original work unknown)

※翻訳書自体のバリエーションについては、関連項目を参照してください。

[2] 原本の情報が明らかな場合

●中→日翻訳

Guo, Jiji. [国際基, 国際基]. (2003). 『三鷹志』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-33). 東京: CGS 出版. (Original work published ca. 1005, 三鷹志 [Sanying-zhi, 三鷹志], Jingde [景德] version, Vols. 1-89, by Jiji Guo [国際基, 国際基], Author, Beijing: Jingde Shudian [景德书店])

●中→英翻訳

Guo, Jiji. [国際基]. (2003). *Records of three hawks* (Satana E. Aga, Trans.). New York: ICU Press. (Original work published ca. 1005, 三鷹志 [Sanying-zhi, History of three hawks], Jingde [景德] version, Vols. 1-89, by Jiji Guo [国際基], Author, Beijing: Jingde Shudian [景德书店])

●英→日翻訳

Ai, Ueo M. (2003). 『三鷹の商人』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-3). 東京: CGS 出版. (Original work published 1005, *The merchant of Mitaka*, London version, Vol. 1-2, by Ueo M. Ai, Author, London: Keko V. Kyakiku)

原本の出版元情報が不明の場合は記述しなくてかまいません。

※原本情報の詳細に関しては、関連項目を参照してください。

※翻訳書自体のバリエーションについては、関連項目を参照してください。

(2) 現代語訳の場合

古典作品でもう一つ重要な翻訳が現代語への翻訳です。

[1] 原本の情報が明らかなでない翻訳書の場合

原本の情報が明らかなでない翻訳書の使用はあまり勧められませんが、やむを得ずそのような翻訳書から引用した場合は、以下のように記述してください。

Ai, Ueo M. (2003). *The merchant of Mitaka* (Satana E. Aga, Trans., Vols. 1-3). New York: ICU Press. (Original work unknown)

阿井上緒. (2003). 『三鷹物語』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-3). 東京: CGS 出版. (Original work unknown)

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *三鷹志* [Sanying-zhi, History of three hawks] (Jiaoda Du [督教大], Trans., Vols. 1-33). Beijing: Jingde Shudian [景德书店]. (Original work unknown)

[2] 正本の情報が明らかな翻訳書の場合。

Ai, Ueo M. (2003). (2003). *The merchant of Mitaka* (Satana E. Aga, Trans., Vols. 1-3). New York: ICU Press. (Original work published ca. 1005, *The merchant of Mitaka*, London version, Vols. 1-89, by Ueo M. Ai, Author, London: Keko V. Kyakiku)

阿井上緒. (2003). 『三鷹物語』 (阿賀沙多菜, Trans., Vols. 1-3). 東京: CGS 出版. (Original work published ca. 1005, 『三鷹物語』, 京都 version, Vol. 1-2, by 阿井上緒, Author, 京都: 三田加屋国際兵衛)

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). *三鷹志* [Sanying-zhi, History of three hawks] (Jiaoda Du [督教大], Trans., Vols. 1-33). Beijing: Beijing Shudian [北京书店]. (Original work published ca. 1005, *三鷹志* [Sanying-zhi, History of three hawks], 景德 [Jingde] version, Vols. 1-89, by Jiji Guo [国际基], Author, Beijing: Jingde Shudian [景德书店])

原本の出版元情報が不明の場合は記述しなくてかまいません。

※原本情報の詳細に関しては、関連項目を参照してください。

※翻訳書自体のバリエーションについては、関連項目を参照してください。